

県南地域における畑わさび生産技術の向上の取組 ～遠野市で畑わさび生産者技術交流会を開催しました～

1 はじめに

畑わさびの県南地域全域への栽培エリア拡大の取組に伴い、苗の安定確保が喫緊の課題となっているほか、わさびの消費動向の把握など出荷先との情報交換が必要となっています。

そこで、当センターでは、自家増殖による苗の育成技術や、消費動向などの情報交換を目的とした「畑わさび生産者技術交流会」を開催したので報告します。



2 生産者技術交流会の概要

県南広域管内の生産者や種苗関係者など計25名が参加し、遠野市で令和5年9月22日に以下の内容で開催しました。

(1) 畑わさびの育苗技術に係る事例紹介

苗の生産販売を行う(一社)岩泉農業振興公社の杉山課長と(一社)遠野わさび公社の菊池所長から、採種や播種のタイミング、苗の温度管理などの詳細な手順について紹介していただきました。

(2) 畑わさび出荷先との情報交換

主要な出荷先であるカネ弥(株)の金崎社長から、同社が求める生産物の品質の解説のほか、国外のワサビ加工品の需要の高まりを背景として国産原料の不足が当面続くといった消費動向に関する情報提供がありました。

(3) 現地検討

中沢畑わさび研究会の育苗圃場を見学し、苗畑の管理について説明を受けました。

参加者は、発芽率向上に関する質問をしたり、苗畑管理の情報交換を行うなど技術的な交流を深めていました。



3 今後の取組

今回の交流会で、生産者は苗の自家増殖の可能性や、わさび原料の需要増加による出荷先からの増産要望について実感できました。

当センターでは、引き続き、県南地域の産地づくりに向けた生産技術向上の取組を進めていきます。